



転機に立つ京大体育会

梶野亮

「白夜群狼」八月号

近畿雑誌

京大体育会は、今年度の活動方針として、従来の「学生体育」から「社会体育」へと転換しようとしている。これは、戦後の社会情勢や、学生自身の意識の変化を背景としたものである。

従来の体育会は、主に学生間のスポーツ活動を中心としてきた。しかし、戦後の日本は、高度経済成長の道を歩み、社会は急速に変化する中、学生も単に学生としてだけでなく、社会の一員としての自覚をもち、社会貢献を志すようになった。

この転換は、単に活動の場を広げるだけでなく、活動の質も高めていく必要がある。例えば、社会福祉施設でのボランティア活動、地域住民との交流イベントなど、社会と密着した活動が求められる。

また、学生自身の健康と体力の向上も重要な課題である。現代学生は、学業や就職活動で忙しな生活を送り、健康を顧みない傾向がある。体育会は、学生に適切な指導とサポートを提供し、健全な学生生活を支援する役割も果たさなければならない。

悩みの種は予算不足

大学当局の再考を願う

京大体育会は、今年度の活動に、多大な苦闘を覚悟して臨んでいる。最大の悩みの種は、予算不足である。大学当局からの補助金が大幅に削減されたこと、また、社会からの寄付金も減少している現状である。

活動の維持と発展のためには、大学当局の再考を強く願う。特に、学生体育に重点を置くのではなく、社会体育にも積極的に予算を配分してほしい。また、社会からの寄付金を積極的に募るための支援も必要である。

体育会側としては、限られた予算でも、創意工夫を凝らし、活動を充実させていくつもりである。しかし、大学当局の再考なしには、持続可能な活動を展開することは難しい。

学内制度の問題点

「京大入試ガイド」の出版にあたって、学内制度の問題点を指摘する。特に、学生生活と学業の両立、就職活動のサポート、学費の負担などについて、改善の余地がある点が多く挙げられている。

学生生活面では、寮生活の改善や、課外活動への支援が求められる。また、学業面では、授業の質の向上や、個別指導の充実が重要である。就職活動においては、企業との連携を強化し、学生に有利な就職先を紹介してほしい。

学費の負担については、奨学金制度の拡充や、授業料の減免制度の充実が期待されている。特に、経済的に困難な学生への支援は、大学の社会的責任でもある。

京都大学新聞

学生団体
京都大学新聞社
京都府京田辺市
京都大学新聞社
電話(内線)4111・4221
〒610-0043 京都府京田辺市
1-1-1 (1部 50円)

受験生 特集号

「京大入試ガイド」

本年度学部別募集人員()は昨年度採用人数

文学部	200 (205)	教育学部	50 (50)	法学部	270 (273)
経済学部	220 (220)	理学部	195 (195)	医学部	80 (91)
工学部	80 (80)				

工学部
土木工学科 60 機械工学科 60 電気工学科 50
鉱山工学科 35 冶金工学科 40 金属化学科 30
工業化学科 50 建築学 40 燃料化学科 30
化学繊維学科 40 農産化学科 40 電子工学科 35
数理工学科 40 衛生工学科 40 衛生化学科 40
数理工学科 40 精密工学科 40 合成化学科 40

農学部
農学 36 林学 28 農産化学科 40
園芸工学科 12 白芸工学科 20 農林経済学 34
水産工学科 20

京大入試ガイド

「京大入試ガイド」は、京大入試の最新動向や、受験生へのアドバイスを提供する。試験科目の概要、面接の対策、学内生活の紹介などが詳しく解説されている。

試験科目は、国語、英語、数学、物理、化学、生物、地学、経済学、法学、教育学、文学、理学、医学など。面接では、志望理由や、学内生活への期待などを問われる。

学内生活については、寮生活、課外活動、学業サポートなどが紹介されている。また、就職活動へのサポートについても詳しく説明されている。

映画評

奔放なイタリア民謡の味

伊映画「ニハンスの希望」
監督・レナータ・カスラー

この映画は、イタリアの民謡を背景とした、奔放で情熱的な物語である。登場人物の感情の起伏が激しく、観客を魅了する力を持っている。

音楽は、民謡の持つ独特の味わいを表現しており、物語の雰囲気を大きく彩っている。演技も、登場人物の個性をしっかりと引き出している。



ヨット部A級で優勝

77回全日本学生選手権大会で、ヨット部A級が優勝した。これは、チーム全体の協力と、選手たちの優れた技術によるものである。



京大を受ける人

問題と責任を伴った3年間の学びと成長を、京大で実現しよう。ささやかな指針を、このガイドブックで。

A5判 24頁 250円(税60円)

☆お求めは近くの書店または直接本社へ
京都府左京区直田京大区内京都大学新聞社・TEL.04221 学内142 甲・フリカエ部 3909